

(様式2)

事業計画書

令和3年5月27日

団体名	一般社団法人 磯子区区民利用施設協会		
代表者 職氏名	会長 三上 勇夫	団体設立年月日	平成7年4月1日
団体所在地	横浜市磯子区磯子3-1-41 (磯子センター4階)		
連絡先	Tel 045-750-3210 Fax 045-750-3364		
現在運営している施設名	施設種別	施設所在地	運営期間
横浜市 洋光台駅前公園 こどもログハウス	こどもログハウ ス	磯子区洋光台5-2	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市 杉田地区センター	地区センター	磯子区杉田1-17-1	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市 根岸地区センター	地区センター	磯子区馬場町1-42	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市磯子センター	地区センター及 び老人福祉センター	磯子区磯子3-1-41	始：平成11年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市 滝頭コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区滝頭2-31-39	始：平成16年5月15日 至：令和6年3月31日
横浜市立 浜小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区磯子台23-1	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市立 根岸中学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区西町17-13	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市立 洋光台第三小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区洋光台2-4	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市立 洋光台第四小学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区洋光台6-6-1	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市立 浜中学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区杉田3-30-11	始：平成7年4月1日 至：令和4年3月31日
横浜市立 岡村中学校コミュニティハウス	コミュニティハウス	磯子区岡村1-14-1	始：平成8年4月4日 至：令和4年3月31日

1 団体の状況

(1) 団体の理念・基本方針及び財務状況等

ア 一般社団法人磯子区区民利用施設協会の理念

当団体は、横浜市が設置した区民利用施設を管理運営するために設立された団体であり、設立以来約 26 年にわたり培ってきた、市民利用施設の管理・運営のノウハウを基に、地域との信頼関係を築き、その信頼関係の下「誰もが気軽に楽しく利用できる施設」となるよう日々研鑽するとともに、「地域力・区民力発揮」の拠点施設となるよう、職員一丸となって努めてまいります。

イ 基本方針

方針 1 利用者のニーズに合った管理運営

公の施設の目的「住民の福祉の増進」を基本に、多様化・高度化する地域や利用者のニーズを的確に捉え、利用者の立場に立って、円滑かつ適切な運営を行います。

方針 2 区民活動をサポートし、地域社会に貢献

区民の自主的な活動の支援・連携を通じて、地域の特色を生かし、活力とふれあいのある快適な地域コミュニティの実現に寄与します。

方針 3 区内 11 施設のネットワークによる効果的な事業展開

団体が管理運営している 11 施設全体との密接な連携のもとで、スケールメリットを活かしつつ、効率的な事業展開を図ります。

方針 4 充実したサービスの提供と安定性・信頼性のある管理運営

常にサービスの向上に努めるとともに、これまでの経験をもとに、効率的で安定性と信頼性のある管理運営を行います。

方針 5 情報の公開と個人情報の保護

委員会や利用者会議の議事・審議事項およびご意見箱・カウンターの投書への回答などを公表・閲覧に供するとともに、開示請求等に対処します。

また、「個人情報保護法」、「横浜市個人情報保護条例」および「個人情報取扱特記事項」等を遵守し、個人情報の適正管理について、職員等に徹底します。

ウ 財務状況

別添様式 5 (団体の概要) のとおり、直近 3 ヶ年の単年度収支は黒字決算でとなっています。

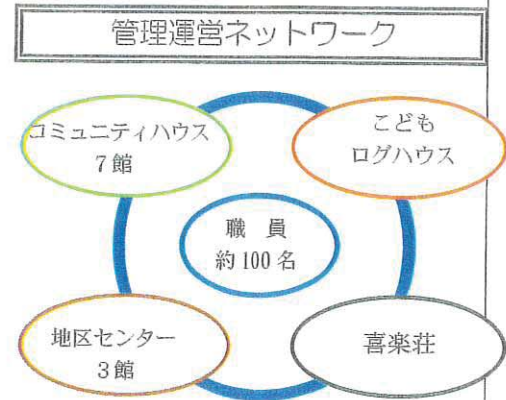
1 団体の状況

(2) 応募理由

ア 管理実績状況

当団体は、指定管理者制度導入以前の平成7年4月から、次の表にお示しする施設の管理運営を行って参りました。

指定管理施設	委託契約施設
こどもログハウス	根岸中コミュニティハウス
杉田地区センター	洋三小コミュニティハウス
根岸地区センター	洋四小コミュニティハウス
磯子センター※1	浜中コミュニティハウス
滝頭コミュニティハウス ※2	岡村中コミュニティハウス
	浜小コミュニティハウス



※1 横浜市喜楽荘（老人福祉センター）との複合館

※2 図書館転換型のコミュニティハウス

イ 応募理由

当団体は、上記管理実績状況にある通り、現在、区内の11施設の管理運営を行っています。平成5年9月に開館したこどもログハウスは、平成7年から管理運営を受託し、指定管理制度となった、平成18年以降も現在まで継続的に管理運営を行ってまいりました。

これまでも、地域の皆様と共に歩んできたことは言うまでもありませんが、とりわけ地域の「こども達」のかけがえのない活動拠点としての大きな役割を果たしてこられたことは、団体にとって大きな財産となっています。

これまで100万人を超える大変多くのご利用者に支えられながら、私たち施設で働くスタッフも、勇気と希望を抱いて働いてこられたことは、感謝以外他にありません。

昨年より、新型コロナウイルスの感染拡大により、施設利用にも何かと制限がかかるなか、ログハウスの与えられた使命を達成させるためにも、継続的に施設の管理運営に関わって行くことが、当団体の使命でもありと考えています。

次期第4期も、「遊びを通じて、子どもの健全育成を図り、子どもを中心とした人と人のつながり強化への支援」によって、地域社会に貢献するとのログハウスの基本的な運営理念を実現してまいりたいと考え応募いたします。

2 職員配置・育成

(1) 管理運営体制

ア 職員配置

- (1) 職員は時間給職員（スタッフ）とし、常時2人の勤務体制とします。
- (2) スタッフ業務の役割分担を定め、必要最小限の体制で円滑な管理運営を実施してまいります。
- (3) 職場・スタッフの円滑な管理、緊急時および苦情・要望への適切・迅速な対応を図るため、リーダー・サブリーダーを置くこととし、スタッフの中から選任いたします。
- (4) 館長は、近接の「横浜市杉田地区センター」の館長（常勤職員）が兼務し、リーダー等のスタッフへの助言・指導による的確なマネージメントを実現します。

○ 1日の勤務体制

午前帯	8時45分～13時	共にスタッフ2名
午後帯	12時45分～17時	

*土日祝日の午後は、利用者増に対応する為、3名体制として、事故防止に努めています。

○ スタッフの体制

リーダー1名、サブリーダー1名、スタッフ8名の合計10名とします。

○ 1ヶ月の勤務体制

平均120コマについて、それぞれを均等なローテーション勤務とします。

(但し、異動のある4月から約3ヶ月間程度は、新人の教育、指導の観点から、新人+リーダーまたはサブリーダーを配置します。)

<ローテーションのイメージ>

第1週目					第2週目				
曜日	午前		午後		曜日	午前		午後	
月	S1	リーダー	S2	S3	月	S6	サブ	S2	S7
火	S4	S5	リーダー	S6	火	S8	S1	サブ	S2
水	S7	S8	サブ	S1	水	S3	S4	リーダー	S5
木	S2	S3	サブ	S4	木	S6	S7	リーダー	S8
金	S5	リーダー	S6	S7	金	S1	サブ	S2	S3
土	S8	S1	リーダー	S2	土	S4	S5	サブ	S6
日	S3	S4	サブ	S5	日	S7	S8	リーダー	S1

リーダー・サブリーダー 14～15コマ スタッフ 11～12コマ

イ スタッフの採用

スタッフの採用にあたっては、磯子区内を基本として、極力近隣の地域住民の中から採用することを、心がけています。

また、スタッフは地域活動の経験者が多いことから、ログハウスでの活動が地域力を高めることに結び付くなど、地域の重要な担い手としての役割も果たしています。

2 職員配置・育成

(2) 職員研修・育成

職員研修は、団体全体として、全職員に共通して求められるスキルアップ、OJTでは、ログハウス固有の課題解決能力の向上を図ることにより、質の高い管理運営能力の養成を目指してまいります。なお、令和2年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、新採用研修を除き、一同に会しての研修は実施しておりません。

ア 施設協会主催の研修

研修区分	開催回数	内 容	目 標・効 果
職員研修	年2回	全職員対象 接遇、個人情報保護、人権、防犯、防災等研修	接遇、個人情報保護、人権等、実務に即した事例をもとに、利用者満足度の向上に努めます。
個人情報保護研修	年1回	個人情報保護とは何か、その重要性を学ぶ	講義の後、理解度テストを行い、理解を更に深めています。
救急救命AED講習	年1回	磯子消防署による実務指導	全職員がこの救急法を習得し、館内での万が一の事故にも的確な対応ができるものとしします。
経理研修	年2～3回	館長、経理担当を対象に経理処理実務を学ぶ	通常業務、年度末処理の各業務を学び、経理処理を確実なものにします。
新採用職員研修	年1回	新採用職員に約1～2週間現場で実務研修を実施	新スタッフに対しての研修を通じ、新年度の円滑な業務運営を図ります。

イ OJT（職場内研修）

ログハウス固有の課題に対応するため、以下の研修を実施します。

研修区分	開催回数	内 容	目 標・効 果
OJT研修	毎月	全スタッフが、一堂に会して、設定テーマごとに、実技、ロールプレイ、話し合い等の手法によりスキル向上を目指す。 テーマ ・管理上の問題点、利用者の要望、苦情等・けが等緊急時対応・震災時対応・「チラシづくり」等	様々な利用者への接し方、日常業務の確認、利用者ニーズの把握等を、事例を通して理解するとともに、実践に結びつけます。また、地震等大規模災害発生時の対処能力を高めます。
	4回	①熱中症研修（5月）②トイレ非常ボタン作動時への対応研修 ③個人情報保護研修④ゴミの分別と回収対応研修	

3 こどもログハウスの管理運営

(1) 施設及び設備の維持保全並びに管理

こどもログハウスは、平成5年9月に開館し、28年近い年数が経過しています。3期では、平成31年1月上旬から3月中旬にかけて、屋根の防水等建物の長寿命化、および劣化による不都合箇所の改修等の安全性向上等の大規模修繕が実施されました。また令和2年11月には、トイレ排水管および外構下水管の高圧洗浄工事を行い、今後定期的に高圧洗浄を実施します。

大型台風や夏場の高温化現象等の突発的な事態にも適した対応を行ってまいります。しかし建物や遊具等は確実に経年劣化が進行していますので、長寿命化に向けて日常点検とこまめな修理や手入れを実施し、予防保全を念頭に行ってまいります。必要に応じて、区役所等への速やかな報告を含め速やかな修理検討を行い、利用者にとって安全で安心な施設運営を目指します。

ア 基本的考え方 ～安全・安心な遊び空間を～

大規模修繕の回避、効率的な管理やコストの削減、施設の長寿命化実現のため、以下の取組を進めます。

- ① ログハウスが、横浜市の施設であることを常に意識し、維持管理業務を行います。
- ② 指定管理業務の仕様書に示された維持管理業務を全うするため、必要に応じ専門業者への委託を行い、的確な維持管理を行ってまいります。
- ③ きめ細かな日常点検や清掃などにより、早期に施設設備の不具合を発見・防止し、こまめな補修を行うことで施設の安全・安心、快適な維持を図ります。
- ④ 日常点検、故障、利用者からの苦情等により修繕の方向性を検討し、大事に至る前に小破修繕を行います。

イ 維持管理計画

区 分	業 務 内 容
スタッフによる 日常点検	日常点検により、施設・設備・備品等の不具合をチェック・補修いたします。
清掃計画	日常清掃（スタッフ：毎日） 定期清掃（業者：2カ月1回）
保安警備計画	機械警備の導入。防犯・火災異常、非常通報等の業務を警備会社に委託
ごみの減量・資源化	「ヨコハマ3R夢」「ごみゼロ」等に参加し、省資源化に取り組めます。

☆委託契約は、内容によって、競争入札による契約や複数年・複数施設契約を行い、経費節減を図っています。

ウ スタッフのスキルアップ

施設・遊具の不具合の気づきや適切な修繕実施のために、以下を実行します。






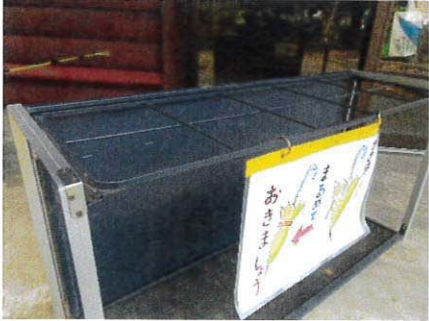
- ① 毎日、詳細な遊具等の点検マニュアルに基づき、施設・遊具等の不具合の有無を点検し、異常があれば組織内で情報共有を行うとともに、区役所等に連絡を取り、適切に対応してまいります。
- ② 横浜市が作成した「維持保全の手引き」「施設管理者点検マニュアル」に基づく「維持保全」を念頭に置き、施設・遊具等設備の不具合の早期把握を行い、その対策や不具合履歴を記録し、区役所や環境創造局とも調整し、適切な修繕計画につなげます。

3 こどもログハウスの管理運営
 (2) 小破修繕への取組

ア 小破修繕への取組

- ① 利用者が安全・安心・快適に利用できる環境を維持するため、日常点検・清掃を丁寧に行います。
- ② 建物・設備等の不具合を早期に発見・防止し、施設の長寿命化実現を目指します。
- ③ 不具合が発見された場合はただちに修繕の必要性を検討し、修繕のほとんどは小破修繕を行い経費の節減に努めます。

イ 小破修繕の具体例

修繕前	修繕後
<p>非常口扉の腐食</p> 	<p>腐食した部分の木材を交換し、ペンキの塗り直し作業</p> 
<p>2階小窓の網戸破損</p> 	<p>窓の外側に網戸を新規設置（2ヶ所）</p> 
<p>傘立て破損</p> 	<p>L字金具を使用し補修</p> 

3 こどもログハウスの管理運営

(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応

ア 事故防止

ログハウスは、駆けずり遊びまわられる施設として設計されています。遊び方によっては、常に楽しさと怪我等の危険とが背中合わせとなっています。スタッフは「子ども達の危険防止・安全の確保」を最重要任務としています。

未然防止のための見守り

- ① 点検表に基づく各遊具の安全点検（毎日：開館前及び午後の点検）
- ② 裸足でケガをしないように、日常清掃を徹底
- ③ 子ども達に遊び方ルール of 徹底
- ④ 幼児については保護者による監視のお願い
- ⑤ 祝祭日・土曜日の混雑時は、監視人員を増員して見回りの強化

イ 事件防止

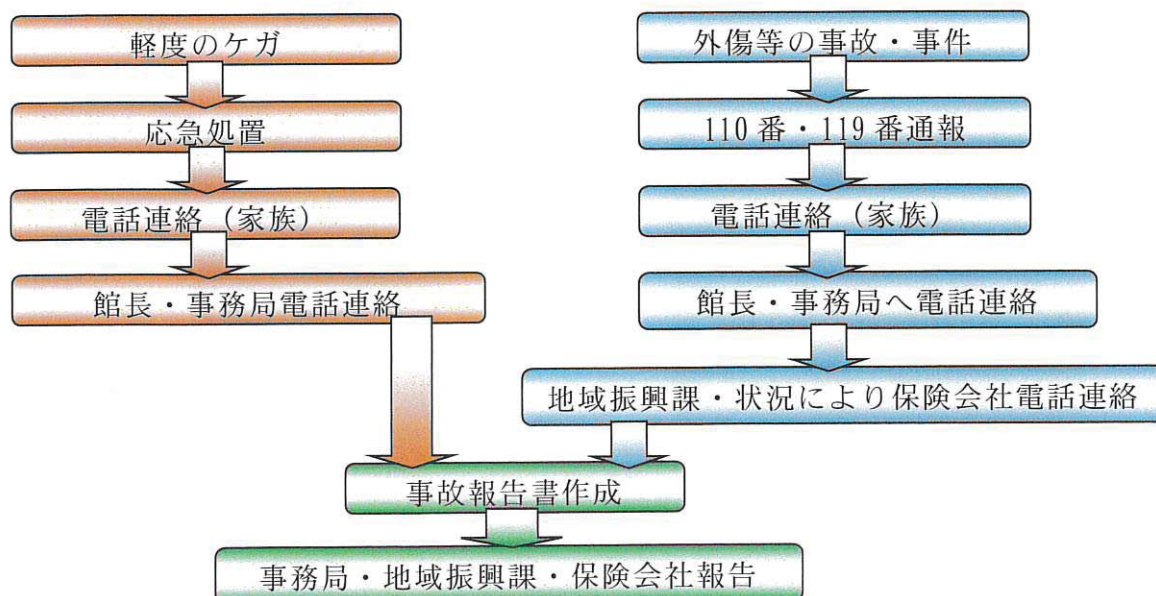
主に小学生以下の子どもが利用する施設であるため、「安全第一」を心掛け館内の見守りを強化しています。不審者対応としてスタッフは常時通報器具（セコム警備会社）を携行し、トラブル対応のため、館内5か所に防犯カメラを設置しております。

ウ 緊急時の対応

緊急時対応マニュアルの整備に努め、スタッフにその周知徹底を図っています。実効性向上のため、関係機関による訓練や講習の受講内容を実践できるよう、スタッフ一人ひとりが危機意識を保ち、「いざ」に備えています。

「緊急連絡網」の整備・・・事務所内の見やすい場所に掲示して緊急対応に備えています。
緊急事態発生・・・利用者の「安全第一」を心がけ、万一、事件・急病等が発生した場合は、警察・消防・医療機関等へ迅速に「緊急連絡」・「出動要請」を行ないます。
遅滞なく報告・・・区役所、学校、運営委員会等関係機関へも報告します。

事故・事件発生時の対応



3 こどもログハウスの管理運営

(4) 防災に対する取組

防災情報のメール受信・・・市、区の防災情報をメール受信し、天気予報、地震、防犯等に関して、施設で速やかに対応できる体制をとっています。

A E D 研修実施・・・事務局主催のA E D研修を全員受講し、対応能力の向上に努めます

ア 地震対策

●避難訓練実施・・・スタッフによる館内放送訓練・通報訓練・避難訓練等、地震に限らずあらゆる緊急事態を想定した訓練を実施し、スタッフの役割分担も含め、日ごろから体制強化に努めます。

3・11には、震災を想定した避難訓練を開館時間内に利用者を含めて実施します。

- 磯子区防災計画の補足的避難場所として位置づけられていることをスタッフ全員で共有し、協力要請があれば遅滞なく開設および運営に協力します。
- 磯子区防災マップを館内の見やすい所に掲示します。
- 転倒・落下の恐れのあるものは全て固定し、事故防止対策を徹底しています。



イ 火災対策

- 施設に火災の原因となるガス機器等はありませんが、スタッフルームに消火器を2台常備し、万が一に備えます。
- 施設内および施設周辺を常に綺麗な状態に保ち、火災の発生を予防します。

ウ 豪雨台風対策

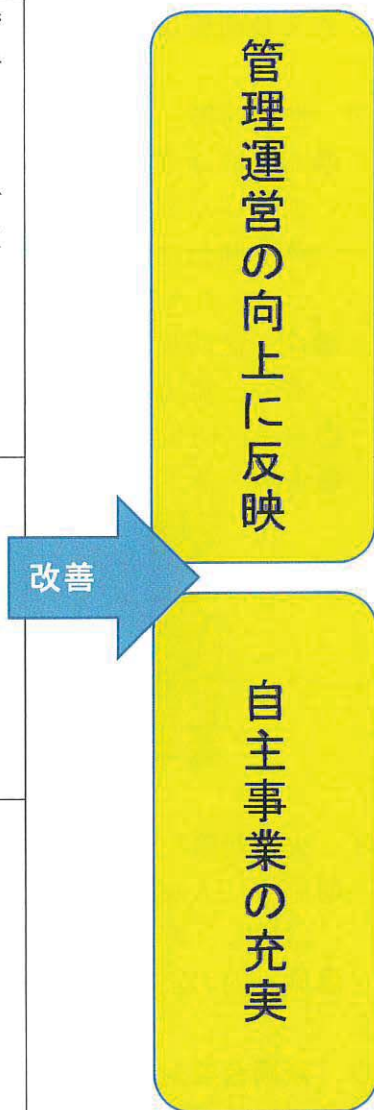
- 天気予報等で事前に台風大雨等情報を把握して、被災対策を講じ、被害を最小限に抑えます。
- 台風通過後は施設内および施設周辺の被害状況を確認し、速やかに区役所等へ報告します。



3 こどもログハウスの管理運営
 (5) 利用者のニーズ・要望・苦情への対応

ア 利用者ニーズの把握

<p>利用者の声 直接の意見や要望 ご意見ダイヤル (常時)</p>	<p>館内2カ所に子どもでも気軽に意見を投稿できるよう親しみを持てる投稿箱を設置しています</p> 	<p>館長・全スタッフで投稿内容を共有・対応を検討</p> <p>投稿と回答内容は一覧表を作成し館内にて情報公開</p>
<p>利用者アンケート (年1回以上)</p>	<p>幼児連れの保護者から小学6年生まで100名にアンケートを実施します</p>	<p>結果をグラフ化し館内及びホームページにて情報公開</p> <p>アンケート結果を元に自主事業計画</p>
<p>委員会 (年2回)</p>	<p>自治町内会会長・小学校長など地域の代表の方々に構成されている運営委員会の委員の皆様から様々なご意見をいただきます</p>	<p>委員会資料ファイルを作成し情報公開</p> <p>地域の方々のニーズに沿った施設運営を目指します</p>



イ 主な対応事例

- ・乳幼児が寝転んで遊べるプレイマットを設置
- ・男子トイレに幼児用補助便座設置
- ・トイレにエアータオル設置
- ・2階小窓に網戸設置
- ・乳児も参加できる手形アートイベント開催
- ・飲料用冷水器設置
- ・入り口の水洗い場の水道栓を、回転式からプッシュ式に変更

3 こどもログハウスの管理運営

(6) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

ア 個人情報保護の体制

団体では、平成 17 年「個人情報の取扱いについて」を全施設に通知し、19 年には「個人情報取扱いに関する方針」を定め、法令遵守や個人情報の管理などについて統一的な方針を示し、取扱いに遺漏のないよう全職員への周知徹底に努めています。上記「方針」は、団体が開設しているホームページに掲載し、広く公開しています。

イ 個人情報保護等の研修計画

(ア) 事務局主催の研修等

○ 全職員対象の研修（毎年開催）

全職員を対象とした研修の中で、「個人情報保護」に関する研修に充てています。講義後には「理解度チェックテスト」を実施しています。

(イ) 施設における研修

- 施設で開催する OJT 時に、館長からスタッフに対して「職員の手引」にある個人情報保護の重要性を説明し、具体例等を引用し分かり易い研修を行い、浸透を図っています。

ウ 個人情報の管理等

- 入口に「個人情報管理責任者任命書」を掲示して、責任の所在を明記しています。
- ログハウスでは、令和 2 年以降個人情報保護対策として受付簿への記入は必要最小限な情報のみとしています。但し現在は新型コロナウイルス感染症の拡大防止目的としてのみ利用することを説明した上で、氏名・連絡先の記入をお願いしています。また団体利用の受付簿および事故連絡表等にも、氏名・連絡先の記載がありますので、個人情報に記載されているものは全て鍵付きロッカーへ保管、1ヶ月後にはシュレッダー処分をしています。
- ホームページや広報誌への写真掲載にあたっては、必ず保護者の方に許可を得ております。

エ 情報公開

館内では、運営委員会資料、利用者の声および回答、苦情やアンケート結果等について閲覧できる旨の掲示を行い、同時にホームページにも掲載しています。

オ 人権尊重

対人関係をうまく築くことのできない子どもも増えています。このため、スタッフは常に目を配り、トラブルが起こる前に「声かけ」を心掛けるようにしています。

カ 横浜市の施策への協力

環境創造局実施の横浜みどりアップ計画等の取り組みを理解し積極的に参加しています。

4 事業の企画・実施

(1) 事業計画、事業展開

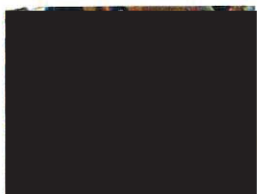
利用者の安全・安心を第一に考え、マスク着用・消毒・検温・参加人数制限等、感染症対策を徹底した上で子ども達が楽しく参加できる事業を展開します

事業計画・具体的な内容

子どもたちが、次世代を担う健全で豊かな人間として育つよう
次の6視点に基づき企画します

視点1 フェイストゥーフェイスで仲間と楽しく 遊べる

- ・かるた大会
- ・トランプ大会



視点2 自主性や創造性を発揮できる

- ・ピンボールゲームを
作ろう
- ・くっつきダーツを
作ろう



視点3 地域への愛情を持つ

- ・ログのクリスマス
- ・クイズ大会
「めざせ横浜！
もの知り博士」



視点4 日本の季節感に富んだ伝統や行事 と世界を知る

- ・流れ星に願いを書こう
- ・節分豆まきをしよう



視点5 感謝する心をもつ

- ・ネックレスを作って
お母さんにプレゼントしよう
- ・ありがとうの気持ちを
ネクタイで伝えよう



視点6 青少年ボランティアが活躍できる

- ・ログのハロウィン
- ・風船おじさんがくるよ



親子参加型事業の充実

保護者も参加できる自主事業回数を増やすことにより、親子での思い出作り、また子ども同士、保護者同士の結びつきを強める機会を提供し、地域コミュニティ醸成に寄与します。

- ・親子で手形アートを作ろう！
- ・乳幼児と保護者対象のふれあい広場 ※新規事業企画
- ・管理栄養士による食育講座 ※新規事業企画

4 事業の企画・実施

(2) 施設の利用促進

3期の利用者数は以下の通りです。

大規模修繕実施

(単位：人)

年度	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	合計	平均
利用者 数	63,183	60,420	47,506	49,719	15,220	236,048	47,210

令和2年3月4日～6日7日まで
緊急事態宣言を受け休館

令和元年～令和2年は新型コロナウイルスの影響により、臨時休館・消毒作業のため時間短縮や利用人数制限を行ったほか、利用者側の感染予防の意識向上による利用自粛などにより大幅に減少しました。4期では、引き続き感染対策を徹底しながら、利用者が安心して楽しく遊べる施設作りにスタッフ全員がチームとなって取り組みます。

ア リピーター増加への取組

工夫を凝らした自主事業の企画・手作り遊具の貸し出しなど、また行きたくなるログハウスを目指します。

イ 広報活動の取組

ログハウスの活動内容や自主事業を紹介する広報誌「おもしろ通信」を年4回作成して発行します。

○町内会等掲示板の活用

「おもしろ通信」を洋光台エリア18町内会の121掲示板に掲示依頼しています。

○近隣施設への配布

「おもしろ通信」を「はまぎんこども宇宙科学館」、幼稚園、保育園、小学校、コミュニティハウス、ケアプラザ等に掲示を行っていきます。

○近隣ファストフード店、商店街ショップ27の活用

ファストフード店に設置していただいている「ログハウスコーナー」にイベントポスターを掲示。商店街ショップ27の掲示コーナーには「おもしろ通信」の配架、イベントポスターの掲示を行っていきます。

○ホームページ、区役所情報提供媒体の活用

団体のホームページ、区の広報誌「広報よこはま」等を活用し、積極的に自主事業の情報を発信します。

○民間無料掲載機関紙の利用

大きなイベントで、エリアを拡大して知らせたい場合は、地域ミニコミ誌などを活用します。

ウ パネル展参加

毎年6月に磯子区役所1階ロビーにて開催されているパネル展に参加し、活動内容や自主事業を掲載したポスターを作成・掲示し施設の利用促進を図ります。

エ 近隣幼稚園、保育園等子育て施設の子どもの受け入れ

子育て施設等の児童を、運営に支障がない範囲で積極的に受け入れます。

4 事業の企画・実施

(3) 地域課題の理解及び、課題を踏まえた事業提案

ア 地域ニーズと運営への反映

(令和元年度磯子区民意識調査報告書からログハウスに関連した問題を抜粋)

地域ニーズ (区役所が取り組むべき課題)	ログハウスの対応
第1位 「災害対策」 (前回調査より10%UP)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への防災対策を強化 ・補足的受入施設であることの理解徹底 ・磯子区防災マップを館内掲示
第4位 「子育て支援や青少年の健全育成」 (前回調査より4%UP)	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある「自主事業」を企画・実施 ・子どもの健全育成を進める近隣グループや公的施設との連携を強化 ・中学生ボランティアに活躍の場 ・職業体験生徒を受入 ・近隣幼稚園、保育園等子育て施設の子どもの受け入れ
第6位 「商店街の振興」 (前回調査より1.5%UP)	<ul style="list-style-type: none"> ・JR洋光台、UR都市機構等と協働で、地域の大型イベントに呼応した自主事業 ・近隣店舗ケンタッキーや商店街へのノベルティ提供依頼 ・近隣商店街との協働で自主事業を企画 商店街に多世代交流の場づくり

イ 近隣幼稚園、保育園等子育て施設の子どもの受け入れ (平成28年4月～令和3年3月実績)

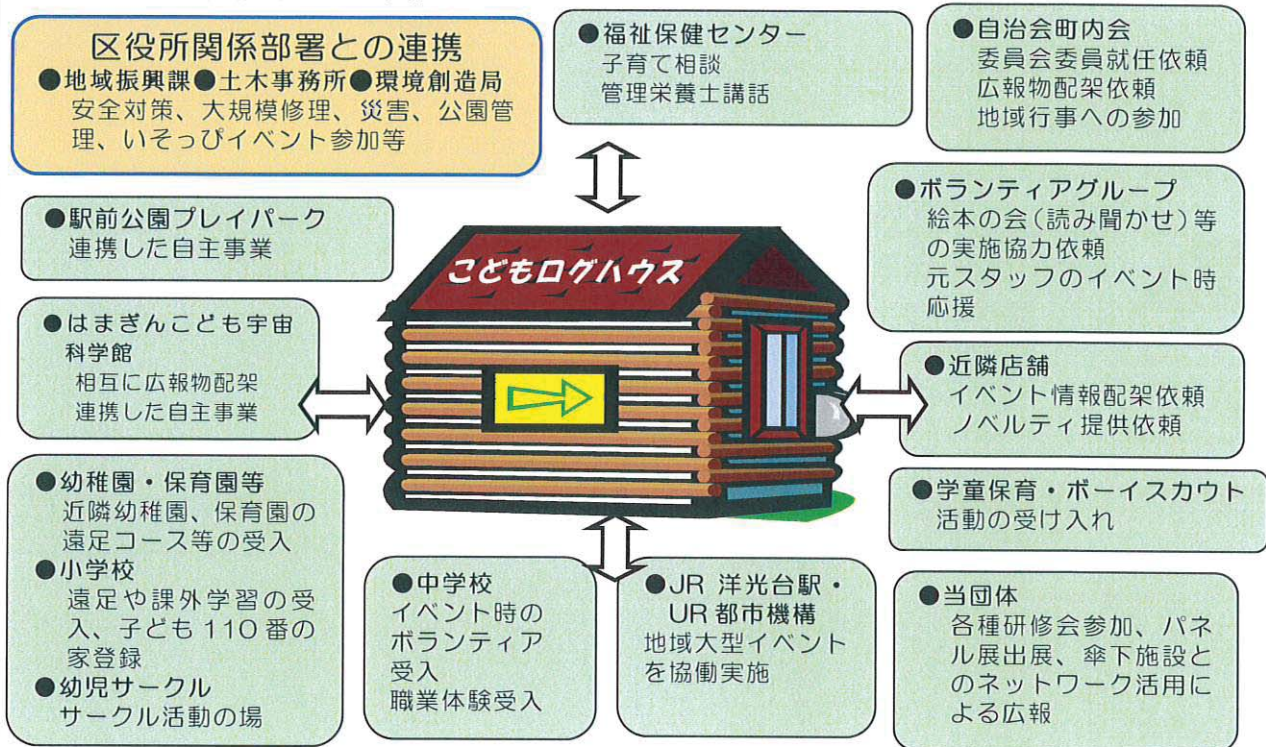
事業名	団体名	回数	延べ人数
外遊びとして利用	つくしんぼ保育園 洋光台保育園 その他	141	2524
外遊びとして利用	片瀬山幼稚園 洋光台幼稚園 フレンド幼稚園 その他	28	764
外遊びとして利用	杉田学童保育 新杉田学童保育 YMCA 東戸塚学童クラブ その他	111	2189
外遊びとして利用	チームナーサリーBighug ・ Bighug 2 クリームソーダ	154	1771
外遊び・遠足として利用	洋光台第一小・第四小 さわの里小学校 その他	57	2227
団体利用	ちびっこ隊 横浜港南地域療育センター 湘南クリエイティブサービス その他	80	1311
	合計	571	10786

4 事業の企画・実施

(4) 関係機関及び地域団体との連携

ログハウスは、「子育て支援」「青少年の健全育成」の拠点施設として、また「コミュニティ醸成」の場として、広く活用していただけるよう、ご利用者と地域等と連携した事業を展開していきます。

<支援・協力・連携イメージ図>



ア 区役所をはじめとする横浜市との連携

区政運営方針を踏まえて、地域ニーズの解決支援や、コミュニティ醸成を視野に入れた管理運営を行います。いそびゴールデンウィークや磯子まつりなどに積極的に参加します。

イ 地域の人々やグループ・団体との連携

自治会町内会には、「ログハウス委員会」の委員就任、広報物の掲示等を依頼し、地域の方々には、イベント開催のボランティアや物品の提供をお願いします。

学校を含めた近隣子育て施設等には、同様の広報関係などをお願いするとともに、ログハウスが、外遊びや課外学習の場として児童等を受け入れます。

JR 洋光台駅や UR 都市機構とは、ハロウィン等の大型イベントで協働します。

近隣のファストフード店や商店街ショップ 27 には、イベントポスターの掲示を依頼しています。

駅前公園プレイパーク・キッズマーケット(らぶまち洋光台 キッズマーケット実行委員会)・はまぎんこども宇宙科学館と連携した自主事業等を実施します。

5 収支計画及び指定管理料

(1) 指定管理料の額

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

(1) 指定管理料の額

ログハウスを適切に運営するためには、指定管理料については、提示された磯子区指定上限額は必要と考えております。

指定管理料は、収入額のほぼ全額を占めております。他に収益確保のための事業収入に関しても、当該施設は、利用者が子ども中心の施設であるため、原則利用料が無料となっており、更なる増収は見込めない状況です。

更に、指定管理料の約8割は人件費が占めていますが、雇用している職員は、時間給（神奈川県最低賃金）で賃金を支払う条件です。様式賃一1に記載の通り、当該施設を運営するための人員は最低10名必要であり、人件費を考えた場合、月給制の正規職員を配置することはできない状況です。

以上の理由で、区が指定する指定管理料で当該施設を運営するためには、現在の事業収入の現状と雇用環境のなかで、ご利用者の皆様にはご満足いただける施設として、サービス水準を維持して事業推進して行くためには、指定管理料の上限額が必要です。

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

前述したとおり、費用の大部分を人件費が占めております。経費節減策としては、給与単価の減、もしくは職員定数の減が考えられますが、給与単価は、最低賃金法（神奈川県水準）に準拠し、職員定数は施設の事故防止等安全確保上必要最小限の人員となっていることから、これ以上のコストカットは大変困難な状況です。なお、館長職は近隣の地区センターとの兼務により、管理経費の節減に努めています。

事務費は消耗品や備品の購入費ですが、特に消耗品費は、事業を進めて行くうえで必要な手作りによる遊び道具等の費用が大半を占めます。そのため、大幅に削減することは不可能です。備品購入費は、より良い施設運営を進めるための必要経費ですが、不要不急なものを購入しない等の効率的な執行を進めます。

管理費は、主に施設の清掃及び機械警備の経費や修繕に関する経費ですが、契約の見直し等も含め削減の努力を継続します。

なお、建物の竣工から30年近く経過するため、施設・遊具・設備等の経年劣化が進んでいる現状から、区役所と協議を進めながら、適時適切な支出を進めます。

6 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止に係る対応

現在ログハウスでは、新型コロナウイルス感染症防止に万全を期して対応しています。

また、勤務するスタッフ職員の健康管理面でも出勤時に健康チェックを行い、来場者に感染させないように細心の注意を払って勤務しています。

利用者の入館導線を数字により順番に進み、双六のゲーム感覚で楽しく進めるように工夫しています。



①マスクを着けて、靴を脱ぐ



②手洗い



④入館表の記入



③アルコール消毒・検温

スタッフによる館内の清掃と消毒を以下のように毎日行い、感染症等の拡大防止に努めています。

8:45～9:00 開館前の消毒実施

11:00～11:15 利用者全員に一時退室して頂き、消毒実施

13:30～13:45 利用者全員に一時退室して頂き、消毒実施

16:00～17:00 利用者全員に退室して頂き、閉館後の清掃と消毒実施

また密を避ける事が出来ない「こどもエレベータ」、および窓が無く換気が不十分な「地下室」は閉鎖し、遊具も消毒可能な遊具だけ館内に出して利用制限をしています。

こどもに関連する活動の実績報告書

団体としての、こどもの遊び、青少年の健全育成等に関連する活動の実績（過去1年間、磯子区に限らず他区・他都市での活動実績を含む。）を、具体的に記載してください。
 ※実績報告書の内容が記載されているものがある場合は、別添として提出することもできますが、要点はこの様式2枚以内にまとめてください。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を最重要課題と考え、感染対策を徹底し無理のない範囲で楽しめる自主事業を実施しました。

5 視点に基づく自主事業

視点①：フェイストゥーフェイスでの楽しい遊び 視点②：自主性や創造性の発揮
 視点③：地域への高まる愛着 視点④：日本の季節感に富んだ伝統や行事と世界を知る
 視点⑤：感謝する心

夏	視点	事業名	内容	人数	開催日
	②	ぬりえイベント	塗ったぬり絵をフレームに入れ、シールや型抜きなどで飾りつけをしました	24人	9/26-27
	④	ハロウィンお面イベント	オバケ、カボチャの2種類から選び口や目のシールを貼りお面を作りました	30人	10/23-24
	①	ふくろうを作ろう	シールや型抜きを貼ってふくろうを作り、スタッフが作成した森林の壁絵にふくろうを飾ってもらいました	30人	11/6-7
	④	ミニリースづくり	リボン製リースの中央部分に自分の顔を描いた紙を吊るし、可愛いミニリースを作りました	30人	12/11-12
	②	スノードームを作ろう！	プラカップや紙皿を使ってスノードームを作り、中に雪だるまやペンギンを飾りました	30人	1/29-30
	⑤	親子で手形アートをつくろう！	ご利用者様からのご要望にお応えして小さな月齢の子も参加できる手形アートイベントを開催しました。	43人	2/18-19
	③	にもつ入れにシールを貼ろう！	ログハウスで子ども達が荷物入れとして使用している箱をスタッフと子ども達で作成しました	32人	3/12-13



令和2年度新企画①「四季を感じよう！」

コロナ禍でも子ども達が季節を感じられるよう新たな事業を企画

	事業名	開催期間	内容（全てスタッフ手作り）
夏	風鈴パラダイス 	7月～9月中旬	ペットボトルで作った風鈴を、2階から吊るし視覚で涼しさを感じてもらいました。風鈴を欲しがるとも出てくるほど大人気でした。
秋	秋の実り 	9月中旬～11月	画用紙や段ボールで作った果物、野菜等をたくさん実らせました。どんな食べ物があるか、子ども達も興味津々でした。
冬	銀世界 	12月～2月	雪の結晶を頭上にたくさん散りばめ、銀世界を表現しました。子ども達には、雪の結晶の作り方をプレゼントしました。
春	春の訪れ 	3月～5月	画用紙、包装紙、お花紙でカラフルなお花の吊るし飾りを作って館内を春らしく華やかに飾りました。写真を撮られる方もいるほど喜んでいただけました。

令和2年度新企画②「なぞなぞ・間違い探しにチャレンジ！」

感染症対策により中止している貸出遊具の代わりに、見て楽しめる事業を企画

事業名	内容
なぞなぞ 	1階～中2階にスタッフ手作りのなぞなぞを9枚掲示しました（定期的に交換） 親子で楽しむ姿を多く見かけました。
間違い探し・文字探し 	2階にA3サイズの間違い探しや文字探しを掲示しました。（定期的に交換） 小さなお子さんにも楽しんでもらえました。